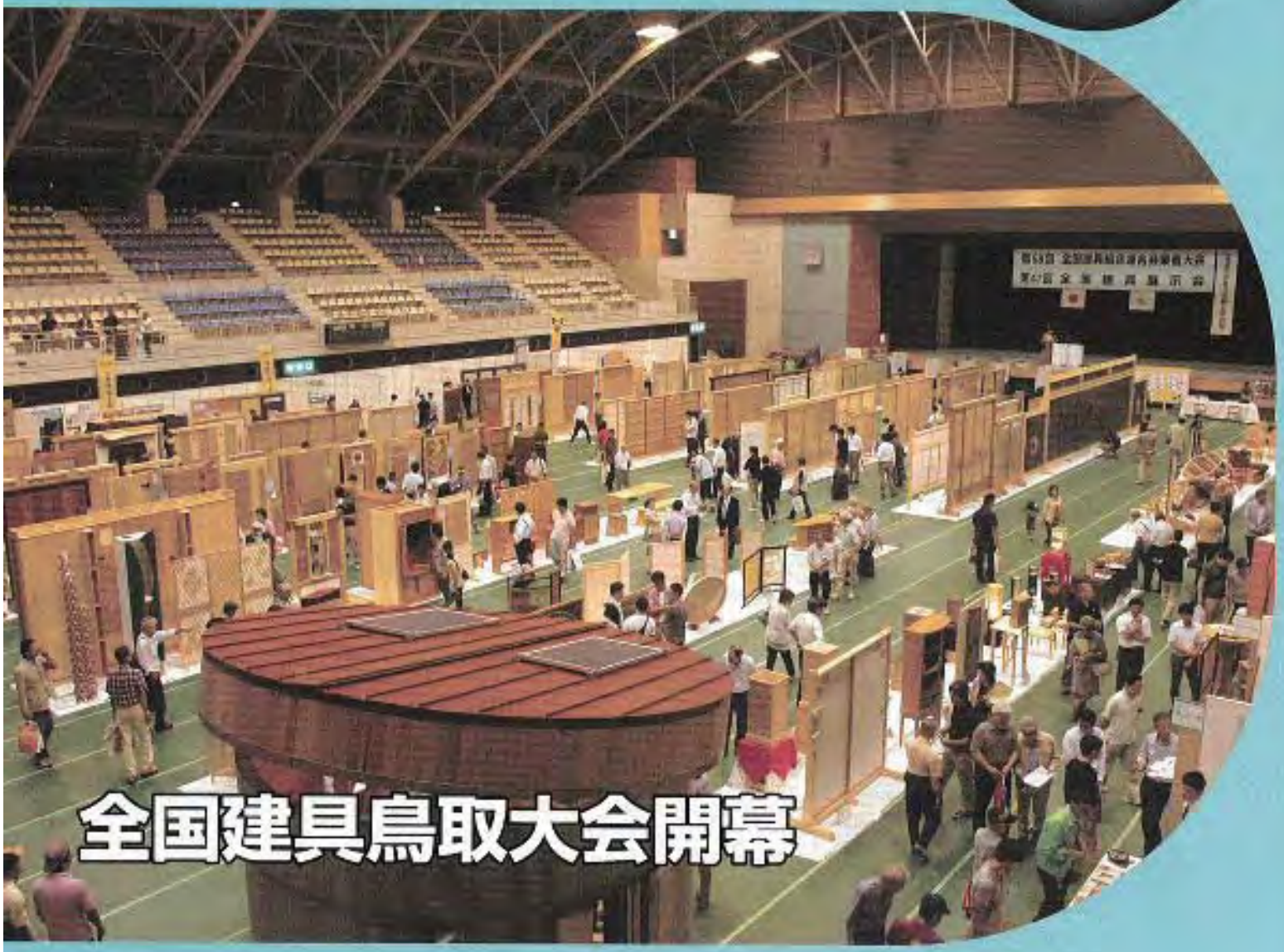
今あるものづくりを　その先の未来へ

e建具

TATEGU

2013
6月号



全国建具鳥取大会開幕

第58回全国建具鳥取大会が開催

業者大会で建具の市場拡大を訴求

全国建具組合連合会（上中節彦会長）は6月21日、鳥取県鳥取市の鳥取県立産業体育館において第58回全国建具鳥取大会の業者大会を開催。全国の各県連から組合員が集まり、行政や建築関係業界に向けて示威運動を展開した。

業者大会は瀬田剛鳥取大会実行副委員長の開会のことばに続き、物故者に対して黙祷。全国から参集した各県連所属の団体を発表した後、主催者を代表して田中修二鳥取大会実行委員長が挨拶。「第58回の全国大会と第47回全国建具展示会が関係者各位のご理解のもと、この鳥取の地で開催できた。全国から集まってくれた組合員に感謝申し上げる。建具業界を取り巻く環境は生活スタイルの洋風化に伴い、匠の技を求める人が少なくなっている。この展示会を通じて匠の技の素晴らしさを感じてもらいたい。鳥取県は人口が少ないものの、豊かな自然に恵まれた土地。全国の組合員にはどうか鳥取を楽しんでいってもらいたい」と、関係者への感謝と全国の組合員への歓迎の弁を述べた。次いで全国建具の上中会長が「私が専務理事だった平成12年の時、鳥取大会を打診し、当時の組合長に内諾をもらった。だが、翌日に鳥取県西部地震が発生し、組合長から大会開催は待って欲しいという要請を受けた。そうした理由もあって鳥取では初の開催となったが、大変な中で開催に尽力した実行委員会の人々に深く感謝する。鳥取の実行委員会は少数精鋭の組織の下、約2年間に渡って準備をしてきた。今日から公開される展示会では匠の技を皆様に見てもらいたい。全国建具は苦しい中でも全国大会を継続している。アベノミクスによる3本の矢の経済政策が行われているが、4本目の矢を放つ必要がある。社会全体が潤えば、我々の業界も活気が出てくる」と、鳥取での開催までの経緯に触れ、関係者の努力に敬意を払うと共に、建具業界の技能の素晴らしさを訴えた。

田中実行委員長

上中会長

来賓祝辞では、経済産業省製造産業局住宅産業窯業建材課の土橋秀義企画官と竹内功鳥取市長が祝辞を披露。土橋企画官は「社会環境は少子高齢化などの社会環境から住宅の市場は縮小している。昨年の新設住宅着工は年間88万戸であり、対前年を上回ったが、大きな伸びとは言えない。しかし、ストック住宅の拡充から増改築には大きな期待ができる。

【詳細は e-建具 2013年 6月号】

第32回通常総会 新部長に鈴木徹氏が就任

鹿沼建具商工組合青年部

鹿沼建具商工組合青年部（小野口彰一部長）の平成25年度第32回通常総会は、6月8日に栃木県鹿沼市市民情報センターで開催。はじめに小野口部長が挨拶。来賓挨拶として白石理事長に代わり、鹿沼建具商工組合副理事長の藤田雄一副理事長が挨拶。青年部を卒業するまで頑張って欲しいとの挨拶があった。

通常総会は梅宮信一氏が議長として進行を執り行った。出席者10名、委任状3名により総会の成立を宣言。梅宮氏は「建具青年部の若い目や若い力が建具の振興につながっていければ良いと思う。親組合に全員が入って欲しいし、親組合も魅力ある組合作りをしていきたい」と語った。

本年度の事業計画などを承認

卒業で花束を受け取る木村氏

平成24年4月から平成25年3月にかけての活動が報告され、昨年は定例の会議などの他、7月29日に木工教室、10月20日に国際木工機械展の視察研修が行われた。イベント情報委員会では新年会、勉強会などの恒例のイベントの事業担当のほか、専用のホームページをオープンに向けて作成準備中である。

続いて平成25年度の役員人事の発表が行われた新任の部会長には、鈴木徹氏が就任。副部会長には高橋健二氏が就任。また木村剛和氏が青年部を卒業し親組合に加盟。青年部は5年前から定年が45歳まで延びたことから木村氏は5年間青年部会員を続けて今季退会となった。

第73回通常総代会を開催 中期経営ビジョンの策定推進

東京建具協同組合

東京建具協同組合（岡村宣勝理事長）は5月30日、東京都江東区の「ティアラこうとう」で第73回通常総代会を開催した。

通常総代会は太田明副理事長の開会の辞で開始。理事長挨拶では岡村宣勝理事長が「景気動向を見ると株価は上昇し、為替も日本経済にとって有利に進んでいる。我々の業界は今後、消費税増税の前の駆け込み需要があり、本格的に景気が回復すれば、各事業所の仕事が増えることが期待される。我々の組合は1年間、やるべき事業を沢山やってきた。本日支部の代表として参加している総代の皆さんに忌憚のない意見をいただき、組合事業に対して理解を深めてもらう総代会にしていきたいと思う」と、業界の現状を語ると共に、総代会における活発な議論を呼びかけた。

議事に先立ち、退任理事と退任支部長に対して感謝状を贈呈。退任理事は山川英夫氏、篠原正巳氏、狩野和太郎氏、西川信博氏の4氏。退任支部長は菊池勝二氏、野口勝司氏、高橋健太氏の3氏。行政並びに関連団体からの表彰では、岩木二郎専務理事が東京都中小企業団体中央会会長表彰、岡村理事長が杉並区技能功労者表彰を受けた。出欠状況は総代28名の出席を確認。総代会の成立を宣言した。

【詳細は e-建具 2013年 6月号】